

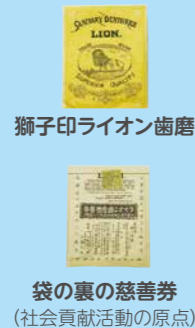
# 社会課題と向き合ってきたライオングループの歴史

石けんとハミガキから始まったライオンの事業は、創業以来人々の健康な毎日を目指して、商品の提供とともに、生活者への普及啓発活動や情報提供を推進し、よりよい習慣づくりを提案してきました。また、古くから地球環境の保全が世界共通の課題であることを認識し、環境に優しい商品の開発など、環境対応に取り組んできました。時代とともに変化する社会課題に対応すべく、よりよい社会と経営ビジョンの実現に向けて、サステナビリティへの取り組みを進めています。

## 口腔保健

1896年～

口腔保健の普及／社会貢献活動の原点



獅子印ライオン歯磨

袋の裏の慈善券  
(社会貢献活動の原点)

1913年～

子どものための歯みがき習慣の啓発活動を開始



商品の付録のしおり・絵本  
(子どもへの口腔保健活動の原点)

ライオン児童歯科院

1960年代～

市場を拡大し世界に通用する製品を開発



小田原工場竣工  
(生産体制の増強)

ホワイト&ホワイトライオン  
(使いやすいラミネートチューブの開発)

1990年代～

明確な機能をシステムとして歯周病に対応



デンターシステムシリーズ  
(歯周病予防)

2000年代～

口腔保健から全身健康へ「オーラルヘルスケア」の推進



アジア地域でのオーラルヘルスケア普及活動

クリニカアドバンテージシリーズ  
(「予防歯科」の推進)

## 清潔・快適

1891年～1940年代

洗剤で「洗う」ということの普及啓発



標準家庭洗濯法  
(洗濯方法の啓発)

ライポン  
(日本初の家庭用鉱油系合成洗剤)

1950年代～

野菜を洗うための洗剤で寄生虫による健康被害への対応



ライポンF  
(日本食品衛生協会推奨第一号製品)

1960年代～

人々の多様な生活ニーズへの対応



ママレモン  
(「手に優しい」食器・野菜用洗剤)

チャーミーグリーン  
(「手肌に優しく、油汚れに強い」台所用洗剤)

1990年代～

商品とともに手洗い習慣を普及させ、清潔に対する意識向上に貢献



キレイキレイ薬用ハンドソープ  
(殺菌成分配合)

2000年代～

アジアの清潔・快適な暮らしに貢献



海外NANOX  
(台湾、香港、シンガポール)

海外キレイキレイ  
(中国、香港、韓国、シンガポール、タイ)

## 環境対応

1920年代～

植物性原料の使用



植物性ライオンせんたく石鹸  
(植物性家庭用洗濯石けん)

1960年代～

水環境問題への対応  
湖沼の富栄養化や洗剤の使用と関係のある河川の発泡に対応



ダッシュ

無りんトップ

1990年代～

植物原料使用商品を拡大



ナテラ  
(「天然くやんの実」を主原料とした食器・野菜用洗剤)

スパーク

2000年代～

商品・コミュニケーションを通じた環境対応



「暮らし、まいにち、エコ。」マーク  
(当社のエコ商品に付与するマーク)

環境配慮型商品の開発

環境目標の推進